

くじらのつばやき



令和4年 5月18日 中央小学校 学校だより No.3

風薫る5月。思わず深呼吸をしたくなるような気持ちのよい季節となりました。最近、曇りや雨の日が続いていますが、運動場の状態がよい日は、子どもたちは休み時間を待ちかねたように運動場に飛び出し、夢中になって遊んでいます。

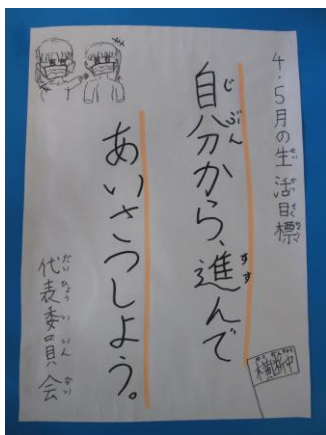


新年度がスタートして約5週間が過ぎましたが、子どもたちは明るく元気に学校生活を送ることができています。その中でも特に6年生は、学校のリーダーとしての自覚が高まり、登校時や朝の時間、25分休みの時間、そうじの時間等で1年生を優しく面倒見たり、遊んだりしている様子が見られ、ほほえましく感じます。

えがお 笑顔とあいさつをたいせつに ~Part.2~



昨年のちょうど今頃、『・・・「笑顔とあいさつ」は大切にしています。マスクを着用し、お互いの表情が見えない状態だからこそ、笑顔を手がけ、温かい言葉でコミュニケーションをとっていく必要があるのではないのでしょうか。子どもたちが、笑顔で友だちと話したり、元気にあいさつをしたりしている姿を見ると、とてもうれしくなります。』という、学校だよりを書きました。あいさつは、コミュニケーションの基本であり、その時の気持ちや体調を推しはかることのできる言葉であり、相手を元気づけることもできます。けれども、子どもたちは、まだ発達途上であり、「あいさつは苦手」「大きな声であいさつするのはなんだか恥ずかしい」と思っている子もいます。そんな子どもたちは、ペコリとお辞儀をしてあいさつをしてくれたり、少し小さめの声であいさつを返してくれたりします。



今年、代表委員会の子どもたちが中央小学校の実態として「まだ、あいさつが少ないのでは」と感じているということ。そして何より「新しい学年がスタートする時期。あいさつすることで、まわりの人たちともっとつながりたい」という気持ちから4月と5月の生活目標を「自分から、進んであいさつしよう」と決めてくれました。登校時、登校ボランティアの方や交通指導をしてくださる方々に「おはようございま〜す!」とあいさつする声が大きくなっているように感じます。上級生のあいさつする姿を見て、下級生も真似して少しずつ大きな声であいさつができるようになってきています。自分たちで課題を見つけ、解決しようと行動できる、中央小学校の子どもたちはすばらしいと思います。

かていほうもん 家庭訪問 ありがとうございます

本年度の家庭訪問につきまして、急な実施方法の変更にご協力いただき、ありがとうございました。コロナ禍であることから、十分な時間をとれませんでした。今後、授業参観や学級懇談会、また、連絡帳や電話などで、お子様のことや学校生活について気になることや知りたいことなどがありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

がっこうせいかつ 学校生活について



先日、教育委員会の先生方が来校され、子どもたちの休み時間の様子や授業を見ていただきました。1年生もしっかりとあいさつができました。授業参観では、どの学年も自信を持って前向きに学習に取り組んでいること、校内環境がとてもよく、掃除が行き届いていることなど、たくさんほめていただきました。



【教育委員会の先生方の授業参観】

コロナ禍ではありますが、子どもたちの学びを止めることなく、感染予防対策をしっかりと行いながら、教育活動を進めていきます。各教科等に共通する活動である「対面形式となるグループワーク」、「一斉に大きな声で話す活動」、理科の児童同士が活動する実験や観察、音楽の合奏や合唱、家庭の調理実習等は、今しばらくの間、控え、指導方法の工夫や、単元の入れ替え等で対応していきます。



【4年生理科：タブレットを使った観察】



【1年生国語：あいうえおのうた】

ちやくよう マスクの着用について

これから、蒸し暑い日が増えてきます。熱中症予防のため、マスクの着用については体育の授業や暑さで息苦しいと感じたとき等は、はずすように伝えていきます。また、自分の判断でも適切に対応できるように指導していきます。ご家庭におかれましても、ご協力いただきますようお願いいたします。

～「みんなが認められ、活躍できる学校、保護者や地域の方々とともに歩む学校」を目指して～